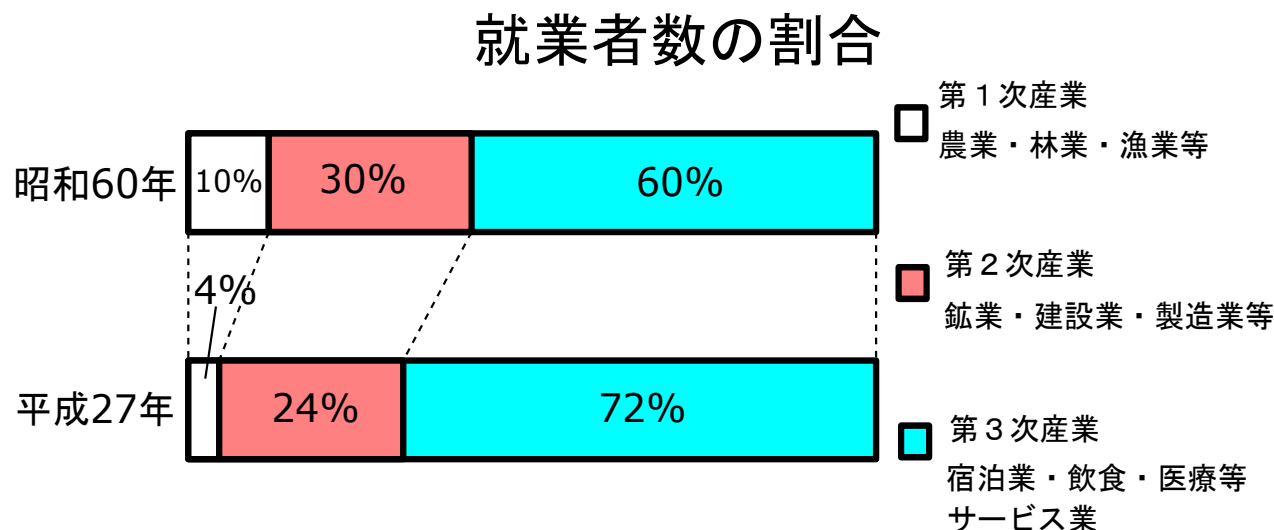


## 2020年徳島県：第2回基礎学力テスト

まさるさんは、社会の授業で、ある都市の産業別人口の割合の移り変わりについて学んだ。下のグラフは、昭和60年と平成27年の「第1次産業」「第2次産業」「第3次産業」の就業者数の割合をまとめたものである。次の(1)～(3)に答えなさい。



- (1) 昭和60年の就業者数が10000人であったとすると、第1次産業に就業していた人数は何人か求めなさい。
- (2) 就業者数を比べると、平成27年は昭和60年と比べて1500人減少していた。また、第3次産業に就業している人数を比べると、平成27年は昭和60年と比べて1.1倍に増加していた。このとき、昭和60年の就業者数を  $x$  人、平成27年の就業者数を  $y$  人として、 $x, y$  についての連立方程式をつくりなさい。
- (3) (2)を解き、昭和60年と平成27年の就業者数を、それぞれ求めなさい。